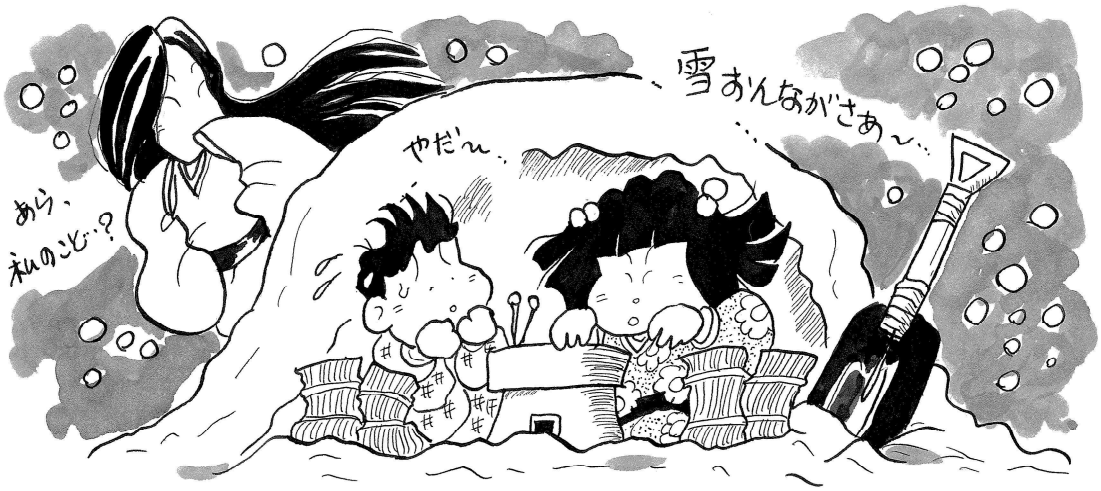
第39巻10号2016年2月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2016 2月号



掲示板

３月８日（火）はボランティア交流会に！

毎年、当館のボランティアの方々への日頃の感謝と交流の場として開催しているボランティア交流会と友の会総会。今年度は２部構成で、視覚障害者の方々が普段使われている機器や、製作部での図書製作作業の様子をご紹介した後、ゲストに視覚障害者の方々を迎え、落語やハーモニカ演奏を披露して頂きます。ボランティア活動歴30年・20年以上の方々への感謝状贈呈やバザーなども行います。今回はおそらく初めての火曜日開催ですので、ぜひご参加ください。

日時　３月８日（火）午前10時～午後３時
会場　玉水記念館（肥後橋駅８番出口すぐ）
会費　1,000円（お弁当代）
10:00　感謝式典
10:30　当館のサービス部・製作部の紹介
　　ゲストによる落語・ハーモニカ演奏
12:00　ボランティア友の会総会
12:30　昼食・歓談、受賞者インタビュー
13:40　館より報告
14:00　バザー（物品の提供をお願いします）

参加申込は３階総務係（電話06-6441-0015）で受付中です。当日は全館休館になります。

専門音訳講習会デイジー編集コース基礎編

毎日新聞大阪社会事業団との共催で専門音訳講習会・デイジー編集基礎編を開講します。デイジー編集の基礎知識を学び、編集技術を実習していただく講習会です。

日時　３月18日（金）・19日（土）２日間連続10時～17時
対象　パソコンの基本操作が可能で、これからデイジー編集を始める方
定員　８人
参加費　1,000円
選考試験　３月４日（金）13時30分から

お申込は録音製作係（電話06-6441-1017）へ要項請求の上、２月19日（金）までにどうぞ。

東京で活躍する視覚障害女性２人の講演会

「語り部」として活躍する川島昭恵さんと、玩具会社社員として「共遊玩具」の普及に携わった高橋玲子さんの講演会が２月27日（土）13:30～16:00、当館４階で開催。入場無料。申込不要。

２月11日（木）は休館

祝日のため全館休館させていただきます。

電子書籍と音声解説の製作・提供をさらに推進
公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成で

当館では、公益財団法人一ツ橋綜合財団より2005年度から毎年多額のご助成をいただき、マルチメディアデイジーやテキストデイジー図書、音声解説とシネマ・デイジーなどの製作・提供を行っています。製作に当たっては、電子書籍関係40人、音声解説関係21人という数多くのボランティアの皆様にご協力いただき、今年度はマルチメディアデイジー(以下、本文では MMD)の教科書14タイトル(以下 tl)、絵本や一般書11tl、テキストデイジー51tl、テキストデータ56tl、映画 DVD 用音声解説８ tl、シネマ・デイジー８ tl、映画会用音声解説４ tl が完成(2016年1月末現在)しました。今回はその中から、MMD 図書と音声解説の製作作業をご紹介します。(総務係　加治川千賀子)

マルチメディアデイジー図書の製作

(1)編集の打ち合せ

パソコンやiPadの画面でわかりやすく表示できるよう、どのようにレイアウトするかなど、ボランティアと職員が事前に打ち合せをします。

(2)原本をスキャンしてデータ化

原本を裁断し、スキャナーを使ってパソコンに画像データとして取込みます。

写真は手作業型(自動的にスキャンする機種もあります。)

(3)文章・画像・音声等、素材データ製作

スキャンした画像から専用ソフトを使って文字データに変換、原本と照合して間違いを修正します。また、絵やグラフなどの図も見やすいレイアウトを考え、iPad等で表示するのに適したサイズに調整、音声の収録も行います。

(4)文章・画像・音声データを編集

MMD 製作ソフト「 PLEXTALK　Producer (プレクストークプロデューサー)」を使用して、目次や頁付けなどの編集を行い、文章や画像と音声を同期。読書する時に、画面に表示されたページの中で、ハイライトしている文章を音声で読み上げるように編集して完成となります。

完成データは利用者に直接お送りするとともに、利用登録者(読書障害のある方)は、当館の専用サーバーからダウンロードできます。

音声解説の製作

(1)セリフ起こしと調査・情報収集

映画のセリフを起こし、解説台本の基となるデータを作ります。また作品のＨＰやパンフ、原作本などで下調べを念入りに行います。

(2)解説台本の作成

解説台本の作成では、いつ、どこで、誰が、何をしているのかという場面の様子を説明する“解説文”を作っていきます。セリフに重ならないように解説文を作る必要があるため、優先順位や言葉の選び方も重要です。通常３～４人で製作を担当し、複数の目で校正・確認作業を行い、その場に適した表現や呼び方、固有名詞を整えていきます。

(3)音声解説の録音

解説のナレーションでは、「音訳」の技術を基本とし、映画を観ながら、映画の雰囲気に溶け込めるような録音を心がけています。

（4）主音声と解説音源の編集

編集ソフトを用いて、主音声と解説音源のタイミングや音量を調整する編集を行います。音量については、映画の音(背景音など)が大きすぎると音声解説が聞こえにくくなり、逆だと音声解説が目立ち過ぎるので、センスと細かな調整作業が求められます。

解説がなくても正しく伝わっていることなどに気づかされることもあります。モニター会後、必要なところは修正を加えるほか、その後の製作にも活かしていきます。

（5）モニター会の開催

当館では、視覚障害利用者と製作担当者を交えたモニター会を行っています。モニター会では、解説がイメージ通りに伝わっているか、誤解や違和感がないかなどを確認します。時として製作側が気にならなかった音が気になったり、

（6）シネマ・デイジー、ガイドＣＤ化

完成後は一部映画会で上映する他、デイジー編集ソフトでさらに編集し、「音声解説 CD 付き映画 DVD」やシネマ・デイジーとして所蔵、貸し出すとともに、サピエ図書館に登録。多くの方々に映画の楽しみを広げています。

音訳教材データベースを開発し、児童・生徒にモニタリング
文部科学省委託「音声教材調査研究事業」２年目の到達点

当館では、平成26年度から文部科学省の委託により「音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究事業」を行っています。これは、視覚障害児童生徒が点字教科書・拡大教科書と併用して使用する音訳教材を提供するためのデータベースの開発がメインですが、同時に、音声で聴いて理解しやすい教材製作を広めるために、「視覚的資料および専門書の音訳技術」を普及することも目指しています。２年目を迎えた本事業の今年度の成果をご紹介します。（製作部長　久保田 文）

視覚障害児童・生徒にとって、視力に応じて点字や拡大教科書の本文を読むことはそれほど困難ではありませんが、図、表、グラフなどの視覚的資料は、教科によっても非常にわかりにくい、読みにくい場合が多々あります。

今回の研究事業の前年、25年度に当館が受託した文科省研究事業では、点字・拡大教科書と音訳教材の併用が、視覚的資料の理解に有用であることがわかりました。

その結果に基づいて、今回の研究事業では、教科書の視覚的資料のみを音訳したデータベースを作って、インターネットに繋ぎ、教師や生徒本人が、学年、教科、出版社、ページ番号、視覚的資料のタイトル等で検索して、必要な視覚的資料の音訳データをダウンロードできるシステム作りに取り組みました。

このデータベースの開発は３年計画です。２年目の今年は、音訳者が音訳したデータをアップロードし、教師がそのデータをダウンロードして生徒に提供。生徒が実際に音訳教材と点字・拡大教科書と併用するモニタリングを行いました。モニタリングに協力してくれた生徒は、地域の学校に通う中学生２人、盲学校の高等部の生徒２人です。

地域の学校に通い、拡大教科書を使っている中学生は、これまでに録音図書を聴いたことはなく、音声で教科書を聞くのも初めてという生徒でしたが、「図のタイトルの前に拡大教科書のページをアナウンスしていたので、どのページを見れば良いかすぐにわかった」「特に地図は、

東から順に読みますなどとアナウンスしてからゆっくり読んでいたので、目で追えた」「左右の目盛りから値を見なければならないグラフも、音声の説明が欲しい」などと評価。インクルーシブ教育を受けている視覚障害児童・生徒にとって、音訳教材の併用は特に有効であることが改めて実感されました。

この他にも、モニタリングの結果を受けて、高校の教科書は内容が専門的で高度になるため、音訳者が内容を理解していないと読者は意味が理解できないということ。しかし、専門知識を持つ音訳者の数は非常に少ないため、今後、視覚的資料の音訳教材を提供していくには、図表が示すポイントの説明は専門家が担当し、それを音訳者が分かりやすく伝えるといった連携が必要であることがわかりました。

こうした結果に基づいて、次年度は、専門家と音訳者とのネットワークを目指すとともに、視覚的資料の音訳技術の普及に力を入れていきたいと考えています。

今年度開発した音訳教材データベースの画面

録音製作ボランティアの森和子さんがご逝去

録音製作係のボランティア森和子さんが１月１日、ご病気のため病院で逝去されました。75歳でした。森さんは当館のボランティアを35年間続けてくださり、亡くなる一月前の昨年11月末まで毎日のように来館され、いつも６階録音製作係北側のデスクで音訳図書の校正・編集をされていました。突然の訃報に、ボランティアの方々はもちろん、職員も深い悲しみと、ポッカリ穴の空いたような寂しさを感じています。

森さんは1980年、当館の音訳講習会を修了後、校正・編集専門に活動。1994年第７回専門音訳講習会として片山一夫先生の「東洋医学コース」を開講以来、東洋医学チームの中心メンバーとして活躍されました。1997年には鉄道弘済会西日本地区表彰・校正の部で表彰。当館からも活動20年と30年の感謝状を差し上げました。

録音図書の校正・編集では、東洋医学の専門書を中心に「臨床経穴学」「蔵珍要編」「街道をゆく」「司馬遼太郎が考えたこと」など、優に500タイトルを超える多種多様な図書を完成してくださいました。そのため本誌の感謝報告には、ほぼ毎号お名前を連ねられ、本号にもお名前が載っています。また、ここ数年は蔵書製作と並行して江戸時代の医師岡 本一抱子（おかもといっぽうし）の古典「病因指南」の校正・編集に取り組まれ、昨年12月に入院された時もその本とＰＣをベッドに持ち込まれたそうです。

１月中旬、ご挨拶に来られたお妹様とお嬢様によると、森さんは2014年３月にご病気が分かりましたが、誰にも口外せず、治療も最低限にして、普段通りの生活を送ることを望まれ、当館の活動も続けられました。昨年11月末に体調が悪化し、12月に入院。１月１日夜、ご家族に見守られて、安らかに息をひきとられたそうです。ご葬儀もご本人のご遺志で誰にも知らせず、ご家族だけで営まれ、可愛がっておられた親戚の小さな子ども達の楽器演奏に送られて旅立たれたそうです。

人生の後半生をボランティア活動に尽くしてくださった森和子さんに心から感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2015年12月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

12月分完成点字図書

16タイトル70冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

JRニュース2015年12月号・1月号
(交通新聞社) 各3冊
点・校:金曜日グループ

美しい馬と生きて(蓮見明美) 4冊
点:藤田比呂子 校:G校正
校:木村寿子

国崩し(小林昌彦) 5冊
点:木下正義 校:宍戸邦栄
校:橋詰玲子

消費税 政と官との「十年戦争」
(清水真人) 7冊 点:井上眉美
校:G校正 校:古谷豊子

食材の切り方便利帖(主婦と生活社)
2冊 点:加尾美千子
校:今里みづ代 校:八木光子

朝鮮と日本に生きる(金時鐘) 4冊
点:安井良恵 校:G校正
校:平野 健

ドクター・ハック(中田整一) 6冊
点:本条祐子 校:G校正
校:平野 健

100のモノが語る世界の歴史1
(ニール・マクレガー) 4冊
点:吉原澄江 校:G校正
校:辻志津江

100のモノが語る世界の歴史2
(ニール・マクレガー) 4冊
点:辻志津江 校:G校正
校:篠原苑子

紫式部日記(紫式部) 3冊
点・校:古典グループ

よりぬき大阪学(大谷晃一) 3冊
点:中沢由美子 校:河村牧子
木村寿子 校:八木光子

レディ・レッスン(ケリー・ウィリアムズ・ブラウン) 4冊
点:河村牧子 校:奥川法子
校:橋詰玲子

ロミオと呼ばれたオオカミ
(ニック・ジャンズ) 6冊
点:橋本和代 校:G校正
校:宗像真李子

私は真珠湾のスパイだった
(吉川猛夫) 4冊 点:平石孝生
校:G校正 校:平野 健

人間と国家 下(坂本義和) 4冊
点:原田萬世 校:G校正
校:平野 健

新・外交官の仕事(河東哲夫) 4冊
点:平林隆雄 校:G校正
校:橋詰玲子

♠ 録 音 製 作 ♠

12月分完成録音図書

18タイトル(書名、著者、録音時間音訳者、校正者、編集者)

命の響(舘野泉) 6:55
音:有末 道 校:鈴木栄子
松浦洋子 本村英子
編:森 和子

黄金の糸(渡辺房男) 8:36
音:前田綾子 校:伊志峰和代
郡 薫 山崎千代子
編:土井賀津子

唐物の文化史(河添房江) 9:27
音:濵 欣子 校:本田睦子
山中眞理子 山崎千代子
編:岡 香代子

９歳で突然父を亡くし新聞配達少年から文科大臣に(下村博文)
8:47 音:倉富重雄
校:上田道子

厚生労働省改造論(秋葉賢也) 8:14
音:岡 香代子 校:谷澤耀子
松浦洋子 若槻敬子
編:浅野雅子

ゴジラの時代(八本正幸) 10:15
音:岩井悦子 校:髙室雅子
桂 公子 山崎千代子
編:浅野雅子

体にいい食べ物はなぜコロコロと変わるのか(畑中三応子)
7:28 音:山本雅子 校:杉本和子
大林 緑 濵 欣子
編:石井ふみ代

子どもに教えたい「お金の知恵」
(本田健) 4:25 音:下山とよみ
校:嶋川真理子 山崎千代子
編:八田芙未子

情報の「捨て方」(成毛真) 4:29
音:野村昭子 校:石原英子
久保洋子 編:辻野玲子

高倉健孤高の生涯上(嶋崎信房)
8:24 音:小西君子 校:山見順子
山崎千代子 編:植田美穂子

高倉健孤高の生涯下(嶋崎信房)
9:22 音:奥 幸子 校:山見順子

日本百名山登頂記１(池田和)
10:29 音:坪田捷子 校:濵 欣子
酒居よし枝 編:岡 香代子

日本百名山登頂記２(池田和)
11:25 音:谷口伊都子
校:宮 清子 濵 欣子 阪越紀子
編:岡 香代子

阪神タイガースのすべらない話
(楊枝秀基) 3:58 音:寺下千秋
校:金井典子 若槻敬子
編:下山とよみ

「見たいテレビ」が今日もない
(谷川豊) 9:08 音:建部節子
校:石井那智子 三上 菊
編:八田芙未子

めざせ！日本酒の達人
(山同敦子) 9:47 音:夛田禮子
校:金井典子 大林 緑
山下富代 編:町田美樹子

やってはいけない相続対策(大村大次郎) 5:07 音:矢切素子
校:柳本絹子 有末 道

雪解け道(青木陽子) 16:10
音:辻野玲子 校:寺下千秋
浅野雅子 編:濵 欣子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

はじめてのひさしぶりの大人の
　ピアノ大全集　4冊
　点・校:コモド・8F
ほくと通巻53号［2013年9月］
　4冊　点・校:G東医

デイジー図書

路第八集　2:16　音:松本公丹子
ｸﾘｽﾄﾌ・ｴｯｼｪﾝﾊﾞｯﾊ指揮ｳｨｰﾝ・ﾌｨﾙﾊｰﾓﾆｰ管弦楽団Vol.4　0:47
　音・編:西田芳美
　(お詫び)録音時間が誤って
　いたため再掲載します。

テキストデータ

ユーキャンの食生活アドバイザー
　検定２級速習レッスン
　ﾃｷｽﾄ化:森田敏子
伝統鍼灸 第40巻第1号(通巻77号)
　ﾃｷｽﾄ化:酒井佐代子
伝統鍼灸 第42巻第2号(通巻84号)
　ﾃｷｽﾄ化:吉川順子
詳解ケアマネ試験過去5年問題集
　2015年版　ﾃｷｽﾄ化:中川幸子
虚栄
　ﾃｷｽﾄ化:小池雅子

♦ 定 期 刊 行 物 ♦

『英語よもやま通信』
デイジー版2016年1月号　2:31
音・校・編:情報文化センター
『英語チーム』岡 香代子
奥田美穂 小倉玲子 川端真知子
小林幸子　中原尚子　野﨑淳子
的場操代 山本 香 脇本登志子

『ONE BOOK ONE LIFE』
2016年1月号発送
西垣泰子　藤原静江　松永壮兒
山田一弘

『近畿視情協新刊案内』録音版
2015年11月号　デイジー版 1:59
カセット全2巻
音・校:郡 薫　倉富重雄

『子供の科学』
デイジー版 2015年11月号 3:47
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
岸田素子 吉川弘美 澤田美那子
夛田禮子　田中英子　土井明美
長田ひとみ

『サイエンスかわら版』
デイジー版 2015年11月号 3:50
音・校・編:情報文化センター
『理数チーム』
大桑久美子 北川温子 小林加代子
橋本万里　浜本裕子　松本紀代
横山時子

『読書』2016年1月号
デイジー版 1:04
音:本田睦子　校:濵 欣子
発送:井川倭文子　筒井貴美子
西垣泰子　松本美津子

**『お役立ち目録 2016年1月号
　～自分を磨く(外見編)～』**
デイジー版 0:12
音:本田睦子　校:濵 欣子

『日経パソコン』
デイジー版2015年12月号　4:52
音・校・編:情報文化センター
石井那智子 片岡珠子 桂 公子
金井典子 川端真知子 北川温子
木村純子　小林幸子　坂口幸子
阪本由美子　佐々木マス子
佐山敦子 嶋川真理子 下山とよみ
竹田佳代　夛田禮子　寺下千秋
寺田美枝子 西田芳美 二宮真理
橋本万里　浜本裕子　福島博子
松浦洋子　三上 菊　目連雅子
山見順子

『週刊新潮』デイジー版
2015年11月26日号　11:27
大島幸枝 大塚しづ子 奥 幸子
小倉玲子 上村裕子 加茂みくり
川添美智子 姜 貞眞 岸野裕子
北川由美子 木村 晶 小西君子
坂戸真由美 佐藤圭子 佐藤公平
澤井 稔　沢田玲子　柴田智美
嶋林茂子　関田通子　武市敦子
田中葉子　近森康子　坪田捷子
中村京子 中元友机子 西岡千代子
橋村惠子　羽淵雅子　濵 洋一
前川祐子 前田元子 真美奈津子
密山一二三　八十嶋敦子
吉田典子　和田啓子
編集　古跡眞知子

2015年12月3日号　9:07
秋本直美　石川亜紀　乾 郁子
岡村勝彦　奥田和美　柏木和子
片山紀子 加藤紀美子 河原眞知子
黒河典子　小塚裕美　斉藤良子
酒田恵実　首藤和恵　正田潤子
長井純子　中島 愛　中村千賀子
中村直美 中本和代 野村美穂子
畑中法子 兵頭つね子 深津綾子
福井和子　福田佳代　森口慶子
編集　中本和代

2015年12月10日号 9:53
井尻府三重 上原多美子 上村裕子
姜 貞眞 坂口幸子 阪本由美子
佐藤圭子　佐藤公平　澤井 稔
沢田玲子　柴田智美　鈴木恵子
大登晴代　高田郁恵　武市敦子
永井憲子　中地敦子　橋村惠子
濵　洋一　林　由子　前田元子
向髙寿子　山本晴代　吉田典子
編集　古跡眞知子

2015年12月17日号 10:26
岩谷友子　上野輝子　太田貴子
大籐喜久子 大山節子 越智真弓子
姜 貞眞 岸野裕子 北村優美子
沢田玲子 髙久俊子 詫摩多美子
当房公子 中村洋子 西本美加子
西山トシ子 直場徳宥 橋本明子
星子鐵郎　前田元子　増尾敏子
松原和子　三原富枝　三輪啓子
守田喜久子 柳内登喜子 山下 豊
編集　町田美樹子

新潮音訳協力グループ:
　グループN-BUN
　八幡市民図書館朗読ボランティ
　アサークルよむよむ
　デイジー大阪、奈良県視覚障害
　者福祉センター「草笛会」

✯ マルチメディア ✯ ＤＡＩＳＹ

～一ツ橋綜合財団助成事業～
マルチメディアデイジー図書を
はじめとする当館の電子書籍は、
公益財団法人一ツ橋綜合財団の
ご助成により製作されています。

◆テキストデータ

視覚障害リハビリテーション第19号
テキスト化:池尻三千子　岩井和美

◆テキストDAISY図書

ユダヤ教･キリスト教･イスラームは共存できるか
DAISY編集:大和佳代

◆マルチメディアDAISY図書

少年探偵２　少年探偵団
テキスト化:笠松幸彦　山田理子
画像:足立佐紀子
DAISY編集:岡本純子

少年探偵４　大金塊
テキスト化:佐藤公平　山田理子
画像:足立佐紀子
DAISY編集:吉川順子
DAISY校正:酒井佐代子

✎ 音 声 解 説 ✍

◆ボイスぷらす

黄昏
解説ナレーション:中村京子
台本･編集:加藤由美子 中村京子 平林育子 平山隆子
校正:藤井倫子

逃亡者
解説ナレーション･台本･編集:廣野美代子

シネマ・デイジー枠アナご協力
川添美智子

台本整理ご協力　那須由美子

◆キネマ・アンサンブル

音声解説CD(貸出用)とシネマ･デイジーの製作･提供

映画深夜食堂

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス

足立宣美　飯村康志　岩井正雄
板波キミ　板谷照美　片岡忠克
木畑紀子　帰村千恵　小寺高子
清水美枝子 木村謹治 当房公子
武部はつ子 野間絹子 逸見恵子
宮嶋昌代　森本益子 渡邊洋子
若槻敬子
[茨木市バラの会]　片倉康子
堂 晴美 永崎利恵 森島真由美

◆ 12月の貸出実績

点字　185tl　ＦＤ 0tl
デイジー4397tl テープ 42tl

★12月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
「イスラム国」よ(鎌田実)
米国人一家､おいしい東京を食べ尽くす(マシュー･アムスター=バートン)
イエス･キリストは実在したのか?(レザー･アスラン)
イスラームの善と悪(水谷周)
【デイジー図書】
うろつき同心勘久郎鬼刀始末3(関根聖)
ちょっと今から仕事やめてくる(北川恵海)
においのカゴ(石井桃子)
西郷隆盛伝説の虚実(安藤優一郎)

❣ 対面リーディング ❣

青木幹雄　伊東晴子　犬塚敬彦
井上惠子　上ノ山禎子　後 恵子
内山扶美代 江口不二子 大坂陽子
大島幸子　大西順子　置塩啓子
荻野珠紀　奥井秀子　加納蕙子
神谷考子　菊池雅子　岸田素子
北村優美子 黒瀬勝司 古賀和子
小杉洋子　児玉智子　佐藤美鈴
澤井 稔　島 美緒　神保克子
角野和子 田那辺優子 谷崎節子
田伏惠子　奈良典子　直場徳宥
畠田幹子　林 勇　廣岡敏雄
藤田佳子　麓　孜子　古木昭子
本荘一子　前田芳野　前田元子
増山多惠子 待田敏彦 眞野祥子
南 礼子　向井民子　山内紀代子
12月　利用者16人･53件
ボランティア48人

情報システム

森田敏子

整理･情報サービス

板波キミ　板谷照美　日下清香
鱗星千恵子

録音製作

小林弘子　並木昌子
堀 マサ子　宮崎ナオヨ
[製作数]
新刊 18tl(CD 105枚)
他館 30tl(CD 251枚)
シネマ･デイジー 5tl(CD 25枚)
雑誌 8タイトル(1002枚)
(『英語よもやま通信』『近畿視情協新刊案内』『子供の科学』『サイエンスかわら版』『読書』『お役立ち目録』『週刊新潮』『日経パソコン』)

✉ パソコンサポート ✉ (ボイスネット)

【12月実績】
訪問:1件　萩原博子
例会:石川昌宏 伊藤 勇 坂本敏弘 政所 章
HP更新:中条正信

❋ ご 寄 附 ❋

楽にネット(淵 高晴・加藤エルテス聡志)　フーミンスタディ
板良敷久子　伊藤知我子
大江愼一　後藤正裕　髙梨欣也
髙梨智子 筒井久美子 舟橋雄一
匿名２件
(敬称略をご容赦下さい)

マラケシュ条約と差別解消法を研修

近畿視情協の2015年度職員研修会が１月27日当館で開かれ、45人が参加。視覚障害者等の情報環境の改善に取り組まれている宇野和博氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）の講演「マラケシュ条約と著作権法改正によって変わるもの～読書のバリアフリー化に関する現状と今後の課題」と、今年の４月施行される障害者差別解消法に関する情報提供「図書館における合理的配慮」が行われ、今後の方向性を学びました。

今年度点訳ボランティア養成講習会が開講

今年度の点訳ボランティア養成講習会が１月８日開講しました。今回は応募者が少なかったため10月の開講を延期し、応募者11人から適性試験の結果６人の方に受講していただきました。講師は奥野真里主任で７月まで行います。全員無事に修了され、点訳活動を始められるよう期待します。

赤松成郎様が録音切替用スイッチをご寄贈

録音スタジオの中と外を繋ぐ録音切替用のスイッチが次々に壊れて困っていたところ、当館職員の旧友である赤松成郎さんが実費で20個製作し、ご寄贈くださいました。これまでの既製品は壊れやすかったので、堅牢で大助かりです。心からお礼申し上げます。

◎ボランティア友の会世話人会報告

１月７日（木）10:00～12:00

出席：飯村 伊東 井上 片岡 加藤 鳥山 藤井 山見 山本（館から竹下 林田 加治川）

〈館からの報告〉

視覚的資料と専門書の音訳技術研修会他

〈協議事項〉

・施設見学会の反省

・Ｖ友の会交流会の詳細・役割分担

〈次回〉　３月３日（木）10:00～

あ ゆ み

【１月】

５日　仕事始め

６日　ボランティア活動再開

７日　ボランティア友の会世話人会

８日　点訳ボランティア養成講習会開講

９日　振替休館（用具、会議室、総務は営業）

21日　見学：香港盲人輔導會

27日　近畿視情協職員研修会

28日　視覚的資料および専門書の音訳技術研修会・宮城会場（～29日）

予　定

【２月】

12日　専門音訳講習会デイジー編集コース・応用編（17日）

13日　オープンデー（館内見学日、要予約）

20日　講演会「ひろがれ！点字」

25日　視覚的資料および専門書の音訳技術研修会・福岡会場（～26日）

26日　わろう座映画体験会

編 集 後 記　ご逝去の一月前までボランティアを続け、病院にまで校正作業を持ち込まれた森和子さんの生き様には頭が下がりますが、当館のボランティアの皆さんが高齢でも凛としておられることには敬服します。先月号に掲載した板谷照美さんの厚労大臣表彰の記事中、ボランティア活動の開始年を誤ったところ、「私が始めたのは1971年からで45年間に過ぎないのに、嘘をついて多く言ったみたいで恥ずかしい」というご指摘を受けました。社会人30年に過ぎない私には45年ははるかかなたですが、少しでも後を追いたいと思います。（竹）

ONE BOOK ONE LIFE（ワン ブック ワン ライフ） 2016年2月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター（館長 竹下 亘）
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2（〒550-0002）
TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2016年２月１日
定　価　1部100円　年間購読料1,000円